

2022年5月17日  
在グアテマラ日本国大使館

公開情報のとりまとめは以下の通り。

## 1 内政

### （1）最高裁および上訴裁判所判事の任期延長

最高裁および上訴裁判所の判事等は本来 2019 年 10 月 12 日までの任期であったが、次期判事の選出プロセスが遅れているため任期が延長されていた。13日、最高裁および上訴裁判所の判事選出が行われないうまま2年が経過し、現判事等の任期延長が確認された。2020年5月、憲法裁判所が選出プロセスの進展を国会に指示したが、国会は手続きを進めないままとなっていた。

### （2）元兵士グループによるデモおよび国会での破壊行為

複数の元兵士グループが、内戦時代の兵務に対する補償金を要求し、10月13日から国内各地でデモを行っていたが、19日、暴徒化した一部のデモ参加者が国会駐車場から敷地内に侵入し、破壊行動を行った。国家文民警察および反暴動特殊部隊が到着後、デモ隊は警察等に対し投石、棒などで攻撃をしたが、警察および特殊部隊が催涙ガスで応戦しデモ隊は解散した。

### （3）2022年の国会議長団の選出

18日に選出された国会議長団（2022—2023年）を構成する議員は以下のとおり。

国会議長：シルリー・リベラ議員（バモス（VAMOS）、右派、与党）（新規選出）

第一副議長：カルロス・ロペス（国民希望党（UNE）、中道左派）（再選）

第二副議長：カロリーナ・オレジャーナ（国民革新党（UCN）、右派）（新規選出）

第三副議長：エフライン・メネンデス（バロール（VALOR）、右派）（新規選出）

第一書記：マイノール・メヒア（バモス（VAMOS）、右派、与党）（新規選出）

第二書記：フリオ・ロンゴ（国民集中戦線（FCN）、右派）（新規選出）

第三書記：サンティアゴ・ナヘラ（国民希望党（UNE）、中道左派）（再選）

第四書記：アニバル・ロハス（ビジョンと原則党（VIVA）、右派）（新規選出）

第五書記：マルビン・アルバラード（国民福祉党（BIEN）、中道右派）（新規選出）

### （4）イサバル県エル・エストール市での非常事態宣言の発令

イサバル県エル・エストール市に位置するニッケル・グアテマラ社（CGN、スイス、ソルウェイ・グループの子会社）の採掘に関し、10月4日から同社の採掘に反対する市民グループにより道路閉鎖が行われていたが、22日、先住民・漁民グループと治安部隊間の衝

突が発生し負傷者が出た。これを受け政府は、24日、同市に30日間の非常事態態勢を発令し、翌25日、国会で可決された。同市は麻薬密売グループの活動地と言われる。なお、25日から非常事態態勢の発令に反対する先住民グループが首都でデモを続けた。

## 2 内政（新型コロナウイルス関連）

### （1）グアテマラの感染状況

検査実施数が少ない週末・祝日の一時的な低下を除き、10月上旬は3,000件/日前後であったものの、月末にかけ新規感染者数は減少し、下旬は1,300件/日前後で推移した。

### （2）「アラート信号」システム

期間	赤	橙	黄	緑
9月20日～10月3日	300市	31市	9市	0市
10月4日～17日	260市	60市	20市	0市
10月18日～31日	192市	89市	59市	0市

注：2020年7月27日から開始された「アラート信号」システムに関する詳細は当館HP ([https://www.gt.emb-japan.go.jp/itpr\\_ja/border20200331.html](https://www.gt.emb-japan.go.jp/itpr_ja/border20200331.html)) を参照。

### （3）ワクチンの到着

ア 16日、COVAXファシリティを通じスペイン政府からアストラゼネカ社のワクチン15.1万回分（供与）がグアテマラに到着した。

イ 20日、スプートニクV70万回分が到着した。

ウ 27日、スプートニクV70万回分が到着した。

エ 29日、スプートニクV70万回分が到着した。今次到着によりスプートニクV契約済み800万回分のうち476万回分（約60%）が受領済みとなった。

### （4）移動式コロナ・ワクチン接種団への暴力行為の発生

4日、アルタ・ベラパス県フライ・バルトロメ・デ・ラス・カサス市で、保健省の移動式コロナ・ワクチン接種グループがワクチン接種に反対する住民等に襲われ負傷者が出たほか、ワクチンおよびワクチン保冷用容器が破壊された。

同事件を受け、コマ保健大臣は「同市人口の90%がカクチケル語（マヤ系先住民族の言語）話者である。保健省はカクチケル語で地域住民に対しワクチン接種は任意であること等の重要な情報を発信したが、住民側が保健省のメッセージを適切に理解していなかった可能性がある。そのため、保健省は地方住民へのワクチン接種の戦略を再検討する必要があり、現在再検討中である。」と述べた。

### （5）ブラジル、イギリス、南アフリカ滞在者の入国制限の解除

7日、保健省は、ブラジル、イギリス、南アフリカに過去14日以内に滞在したのものに対する規制措置を廃止した。

#### (6) ワクチン接種の遅れ

汎米保健機構（PAHO）が発表したワクチン接種が遅れている6カ国（2回目の接種率が25%以下）にグアテマラが該当した（22.79%）。その他5カ国はジャマイカ、サンタルシア、サンビセント&グレナディーン、ハイチ、ニカラグアであった。

また、18日の調査によると、都市部のコロナ・ワクチン接種率は44.02%に対し地方は20.21%、第一言語が西語人口の接種率は49.4%に対し、マヤ語人口は14.6%であった（ワクチン1回のみか接種完了かは不明）。

#### (7) スプートニクVワクチンの購入契約

18日、コマ保健大臣は、スプートニクVワクチンの購入契約に関し、契約書の別項・別添（adenda）によると、当初購入予定であった1,600万回分のワクチンの残り半分800万回分（以前の保健省の発表では、購入キャンセル分にあたる）は、グアテマラの需要に応じ2022年から2023年の間に供給される予定である、と発表した。

## 4 外交

#### (1) ブロロ外務大臣のイベロアメリカ事務局長選挙への出馬

大統領府社会広報庁（報道官事務所）は、ペドロ・ブロロ外相がイベロアメリカ事務局長選挙（任期2022-2026年）に立候補することを認めた。ジャマテイ大統領はブロロ外相の勇退に向けて準備を開始しており、ブロロ外相の後任候補の検討に入った。ブロロ外相の退任案は、憲法裁判所の判事選出やサンドバル元検察庁無処分問題対策専門局（FECI）長の解任を巡り米国との外交関係がつかずいたことに端を発した。国会や政権内には、グアテマラ政府・国会・司法関係者らへの（汚職リストへの掲載や査証停止等といった）米国によるアクションや表明に対し、外務省が有効な対応や返答を採ることができていないことに不満が生じていた。

#### (2) 台湾建国110周年に関する祝辞

10日、グアテマラ政府は外務省ツイッターを通じ、「台湾の建国記念日10月10日、（グアテマラは）台湾国民および台湾政府を祝福し祝辞を述べる。」と台湾へ祝辞を送った。

#### (3) 韓国とのFTA交渉再開

11日、マルーフ経済大臣は記者会見を行い、「韓国通商産業エネルギー省との間でFTA合意のための交渉を（今後）2回開催することに合意し、年内の署名を目指す。（韓国とのFTAは、）韓国・グアテマラ間の貿易を強化し、韓国からの投資への門戸を更に開くことになるだろう。」と述べた。

#### (4) 韓国外交部次官補の当国訪問

11日、韓国とグアテマラの専門家がデジタル技術に関する経験、知識の交換を行うため

のセミナーが開催され、ヨ・スンベ韓国外交部次官補は、政府行政の有効性・効率性を向上するためのグアテマラ・デジタル政府協力センター計画について説明を行った。韓国の支援を受け、通信情報技術の適用強化および、デジタル政府協力センター計画の実現可能性が検討された。

12日、アギラール外務次官は、ヨ・スンベ韓国外交部次官補と会談した。ヨ次官補は、今年5月に韓国・米国間の首脳会談で合意された中米北部三カ国への支援として、2億2千万米ドルを、不法移民問題、デジタル技術分野、気候変動、農業等へ拠出することを強調し、韓国政府は二国間および中米北部三カ国への国際協力強化を目指していると述べた。

#### (5) ジャマテイ大統領のコロンビア訪問および首脳会談

13日および14日、ジャマテイ大統領は、ブロロ外相、アレマン国防大臣、マルーフ経済大臣、フランコ内務次官、アリタ・エネルギー鉱山次官とともにコロンビアを訪問し、イバン・ドゥケ・コロンビア大統領との首脳会談およびグアテマラ・コロンビア間の商業関係強化会議に出席した。両首脳は、麻薬密売との闘いおよび貿易に関する共同アクションに加え、投資、観光を強化するための戦略について協議した。

#### (6) 米国による汚職通報用メールアドレスの開設

15日、米務省は、中米北部三カ国での汚職行為を誰でも通報することができるよう汚職通報用専用メールアドレス電子メール：combatiendocorrupcion@fbi.gov)の設置を発表した。同メールアドレス設置を受け、グアテマラ検察庁は、「汚職防止タクスフォースがどのように機能し、どのような意図があるのか判断するための公式な連絡を米国から受けていない。同タクスフォースがグアテマラにおいて法的に機能するには検察庁の参加が必要である。」と発表した。司法専門家等は、検察庁へ通達がないのはコンスエロ・ポラス検事総長への（米国の）不信感の表れであると述べた（注：9月20日、米国は、ポラス検事総長が汚職捜査・調査を妨害し、サンドバル元同庁無処罰問題対策専門局長を解任したこと等により同局の調査能力を弱体化させたことを理由に汚職者リストに追加した。）

#### (7) 米政府による墨・中米地域への人道支援追加

15日、米国政府は国連難民高等弁護官事務所を通じ、メキシコおよび中米へ2千万米ドルの支援を追加すると発表した。同支援を含めると、米政府による2021年度の対メキシコおよび中米の人道支援は、合計3億3,100万米ドル以上に上った。

#### (8) ニカラグアに関する米州機構の決議の棄権

20日、グアテマラは、米州機構（OAS）常設理事会で行われたニカラグアの野党大統領候補者と政治犯150人の釈放を求める決議を棄権した。同決議は、ニカラグアが11月7日に「自由で公正な」選挙の実施を約束するためのOAS常設理事会による努力を黙殺したことに対し重大な懸念を表明し、加えて、ニカラグア政府に対し、「合意された選挙改革」を含む米州民主主義憲章の原則および国際基準を遅滞なく実行するよう強く求

めるものであった。

グアテマラおよびホンジュラスの棄権を受け、マルコ・ルビオ米上院議員はSNSで「米州地域の民主主義の国々がニカラグア情勢を懸念する決議において棄権を選択したことに落胆した。」と発表した。また、ニカラグアのメディア関係者からも「両国の棄権は、ジャマテイ大統領とエルナンデス大統領がオルテガ大統領の中米における同志であることを証明している」との批判を行った。

#### (9) ブロロ外相の移民外相会議への参加

21日、ブロロ外相は、ボゴタで開催された移民外相会議へ参加し、米国に対し、在米グアテマラ人に対するTPS（一時的保護措置）の発出および不法移民を減らすためH-2ビザの拡大を要求した。

#### (10) ブロロ外相のイタリア訪問

26日、ブロロ外相はローマで開催されたイタリア・ラ米第10回会議へ出席し、コロナ禍でもグアテマラ経済が安定していた点や投資誘致等を訴えた。27日、ブロロ外相はフランスコ法王を表敬し、バチカン市国とグアテマラ85年の友好関係を踏まえローマ法王をグアテマラ公式訪問に招待した。

#### (11) 中国ファーウェイ社による公務員への研修協定

28日、大統領府「開かれた電子政府委員会」とファーウェイ社は、デジタル経済促進のため、今後5年間で1,000人の政府職員に対しテクノロジー分野に関する研修を提供するという官民連携の協力協定に署名した。

#### (12) エルナンデス外務次官のSICA・韓国会合への参加

28日、エルナンデス外務次官は、韓国ソウル市で開催された中米統合機構（SICA）と韓国の協力関係強化のための特別会合へ参加した。同会合には、ベリーズ、コスタリカ、エルサルバドル、ホンジュラス、パナマ、ドミニカ共和国の外務次官や代表者に加え、米國務省や在韓国スペイン大使館の職員等も出席した。

#### (13) メキシコでの移民保護要請

メキシコ難民支援委員会（COMAR）は、2021年1月から10月に過去最大数である10万件を超える移民保護要請（昨年同時期の3倍）を受けたと発表した。多くがハイチ出身者（37万人）次いでホンジュラス出身者（3.3万人）、グアテマラ出身者は3千人であった。

## 5 経済

### (1) 1月～9月の家族送金額

2021年1月から9月までの期間に、グアテマラに約118億4,000万米ドルが送金され、同期の海外家族送金額は2020年同期比36.6%の増加となった。本年の外国

からの送金額は140億米ドル以上に達すると予想された。家族送金の一度の送金額は平均400米ドルであるが、受け取り側の家族は月平均750米ドルを受け取っているため、家族送金がグアテマラ国内消費の後押しとなった。

(2) 2021年第2四半期(4月～6月) GDP経済成長率

10月7日のグアテマラ中央銀行の発表によると、2021年第2四半期(4月～6月)のGDP経済成長率は15.1%を記録した。なお、2021年第1四半期は4.8%、昨年同期は△8.9%であった。四半期の経済成長率が二桁を記録するのは初めてである。

(3) 輸出入額の増加(1月～8月)

2021年1月から8月までの輸出額は89億400万米ドルを記録し、前年同期に比べ21.6%(15億7,800万米ドル)増加した。衣料品が10億米ドル、コーヒーが7,670万米ドル、バナナが5,410万米ドルであった。また、同期間の輸入額は166億1,470万米ドルを記録し、前同期に比べ43.5%(50億3,750万米ドル)の増加だった。輸入先主要国は、米国が57億7,670万米ドル、中国が23億2,220万米ドル、中米地域が19億5,390万米ドルであった。

◇主要経済指標◇	2021年			2020年	2019年
	10月	9月	8月		
インフレ率(前年同月比)	2.96%	3.67%	3.62%	3.21%	3.70%
貿易収支(百万ドル)	△2,388	△1,087	△1,185	△6,692.3	△8,710.9
輸出(百万ドル)	1,119.2	1,188.4	1,130.8	11,514.2	11,170.5
輸入(百万ドル)	3,508.0	2,276.1	2,316.7	18,206.5	19,881.4
外貨準備高(百万ドル)	20,663.2	19,827.2	19,810.4	18,468.2	14,789
外国からの送金(百万ドル)	1,418.5	1,299.3	1,388.6	11,340.4	10,508.3
為替レート(対ドル月平均)	7.73	7.73	7.74	7.72	7.69

(出典：中銀、国立統計院)